

東塔東谷歌合 永長二年

鳥歌 第一頁三

竹歌 第二頁三

鷹歌 第二頁三

魚歌 第二頁三

林歌 第二頁三

山歌 第二頁三

田歌 第二頁三

鳥歌 第一頁一

竹歌 第二頁一

鷹歌 第二頁一

魚歌 第二頁一

林歌 第二頁一

山歌 第二頁一

田歌 第二頁一

東塔東谷歌合 永長二年

題

苗代

水鷄

照射

揚衣

鷹狩

神示

一番 苗代

尤拵

春の光をたにけりて 影をたにけりて 山田がけりて 影をたにけりて 春日の光

春の光をたにけりて 影をたにけりて 山田がけりて 影をたにけりて 春日の光

東塔東谷歌合

永長二年

春の尤歌あまのりよふくくみまらり
あふふもつひまてくならりか
笑ふく心も右歌かよふ山田
さけふ歌かよふ山田

二番

尤勝

後のかよふ山田のあまのりよふくくみまらり

右

津の國をよむをわき梨のよふくみまらり
右歌かよふ山田のあまのりよふくくみまらり

あまのりよふくくみまらり
あまのりよふくくみまらり
あまのりよふくくみまらり

三番 水鶏

尤勝

ふまふ水鶏あまのりよふくくみまらり
右

あまのりよふくくみまらり
右

ふらふらと風をたぐひて
かきかきと風をたぐひて
のちのちと風をたぐひて

七番 持夜

きり

長月のあはれとて

右

秋ぬみら風

右歌

子らあそびて

とてあそびて
ふらふらと風をたぐひて
かきかきと風をたぐひて
のちのちと風をたぐひて

八番

きり

秋ぬみら風

右勝

夜すすく風をたぐひて
かきかきと風をたぐひて
のちのちと風をたぐひて

あはれなる朝の光を
みれば長らわたり
とてはあはれなる
てはあはれなる
あはれなる朝の光を
みれば長らわたり
とてはあはれなる
てはあはれなる

九番 鷹狩

きね

あはれなる朝の光を
みれば長らわたり
とてはあはれなる
てはあはれなる

右

あはれなる朝の光を
みれば長らわたり
とてはあはれなる
てはあはれなる
あはれなる朝の光を
みれば長らわたり
とてはあはれなる
てはあはれなる

右東塔東谷歌合以古寫一本校合

[Faint handwritten text, likely bleed-through from the reverse side]

山家五番歌合

天仁三年四月海日并人不知
左右當座探得之

題

卯花

野草

郭公

五月雨

寄夜戀

作者

中宮亮藤仲實

尤邊中將源師時

木上以日借頼

皇后宮權亮圓顯四

尤少年日雅兼

少納言藤定通

弟和泉与藤道經

木上即藤敦隆

阿闍梨大法師澄源

琳賢法師